



第155号

(昭和49年4月・5月号)

目次

学長式辞 1

関係法令 1

学内規則 2

富山大学学則の一部改正 2

富山大学工学部規則の一部改正 3

富山大学大学院学則の一部改正 4

富山大学大学院工学研究科規則の一部改正 4

諸会議 4

人事異動 5

学内諸報 8

名誉教授の称号授与について 8

永年勤続者表彰 8

海外渡航者 9

職員消息 9

主要日誌 10

昭和49年度入学式学長式辞

昭和49年度入学生、文理学部穴田智子ほか 190名、教育学部明石美喜子ほか 245名、経済学部青海義弘ほか246名、薬学部秋鹿いづみほか90名、工学部板本潤二ほか 253名、計 1,029名、経営短期大学部青田広ほか90名、総員 1,120名に本大学学生として入学を許可いたします。

諸君は本日より富山大学学生として大きな誇りをもつとともに、己の行動に責任をもっていただきたい。諸君の母校や御両親の期待を裏切ることなく、大学生として最善の努力を尽すべきであります。

大学は、一般教育、専門教育、学問研究の三つをそれぞれ強化発展させながら、しかもその間に密接な一体的関係

を樹立することをつよく求められています。

即ち、学問研究と教育は大学本来の目的であって、この目的を正しく追求することにより、社会の要請にも応えることができるのであります。

私は諸君がこれからの4年間、高い教養と学問技術を身につけながら、一時はおろそかにしていた健康増進と情操陶冶に心を配り、立派な人間をめざして精進されることを希望します。

諸君の人生は永く、将来の栄光は期してまつべきことと存じますが、学問の研究、人格の陶冶に生涯を通しての努力が必要です。

視野を広く、正しい批判力を養いながら、大らかに大学生活を送られんことを希って式辞といたします。

昭和49年4月15日

富山大学長 林 勝次

関係法令

(官報掲
載月日)

法律

- 一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律(32) 4. 27

政令

- 国立大学の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令(89) 4. 1
- 国立大学の大学院に置く研究科の名称及び課程を定める政令の一部を改正する政令(90) 4. 1
- 児童手当法施行令の一部を改正する政令(163) 5. 16
- 予算決算及び会計令及び予算決算及び会計令臨時特例の一部を改正する政令(169) 5. 18

府令・省令

- 地方公務員等共済組合法施行規程の一部を改正する命令(総理・文部・自治1) 4. 27

省令

- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部6) 4. 1
- 文部省設置法施行規則の一部を改正する省令(同10) 4. 11
- 文部省定員規則の一部を改正する省令(同11) 4. 11
- 国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令(同12) 4. 11
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省

- 令(同13) 4. 11
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科
目に関する省令の一部を改正する省令(同14) 4. 11
- 国立の学校における授業料その他の費用に
関する省令の一部を改正する省令(同20) 5. 29
- 規 則**
- 非常勤職員の給与の一部を改正する規則(人
事院9-1) 4. 16
- 俸給の調整額の一部を改正する規則(同9-
6) 4. 27
- 初任給, 昇格, 昇給等の基準の一部を改正す
る規則(同9-8) 4. 27
- 医療職俸給表(三)の適用を受ける職員で最
高号俸等を受けるものの俸給の切替えに
関する規則(同9-63) 4. 27
- 給与法附則第7項の規定による期末手当に
関する規則(同9-64) 4. 27
- 俸給の特別調整額の一部を改正する規則(同
9-17) 5. 13
- 特殊勤務手当の一部を改正する規則(同9-
30) 5. 13
- 初任給, 昇格, 昇給等の基準の一部を改正す
る規則(同9-8) 5. 15
- 告 示**
- 国立の学校における授業料その他の費用に
関する省令の規定により寄宿料の額を月額1,200
円とする寄宿舎の規格を定める件(文部87) 5. 29

学 内 規 則

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和49年5月17日

富山大学長 林 勝次

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則(昭和25年1月20日制定)の一部を次のように改正する。

第4条第1項中「経済学科」の次に「, 経営学科」を加える。

第14条及び第15条を次のように改める。

第14条 前条第1項の規定により卒業した者は, 次の区分に従い, 学士と称することができる。

- 文理学部 文学科 文学士
- 理学科 理学士
- 教育学部 教育学士
- 経済学部 経済学士
- 薬学部 薬学士
- 工学部 工学士

第15条 削除

別表第1の文理学部の項中「国文学及び漢文学」の次に「中国語・中国文学」を加え, 同表経済学部の項中

「経営学

商学

簿記学

会計学」

「経営学科

経営学

流通論

財務会計

管理会計」

学」の次に「△環境衛生分析学」を加える。

別表第2を次のように改める。

別表第2

学部	学 科 等	入学定員	総 定 員
文 理 学 部	文 学 科	80名	260名
	理 学 科	130名	510名
教 育 学 部	小学校教員養成課程	140名	440名
	中学校教員養成課程	50名	200名
	養護学校教員養成課程	20名	80名
	幼稚園教員養成課程	30名	90名
経 済 学 部	経 済 学 科	120名	600名
	経 営 学 科	120名	120名
薬 学 部	薬 学 科	55名	205名
	製 薬 化 学 科	50名	200名
工 学 部	電 気 工 学 科	50名	200名
	工 業 化 学 科	40名	160名
	金 属 工 学 科	40名	160名
	機 械 工 学 科	50名	200名
	生 産 機 械 工 学 科	40名	160名
	化 学 工 学 科	40名	160名
	電 子 工 学 科	40名	160名
合	計	1,095名	3,905名

別表第3中

経済学部	経済学科	中学校教諭1級普通免許状	(社会, 職業)
		高等学校教諭2級普通免許状	(社会, 商業)

を

経済学部	経済学科	中学校教諭1級普通免許状	(社会, 職業)
		高等学校教諭2級普通免許状	(社会, 商業)
	経営学科	中学校教諭1級普通免許状	(社会)
		高等学校教諭2級普通免許状	(社会, 商業)

に改める。

附 則

この学則は、昭和49年5月17日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。ただし、別表第1の改正については、昭和49年4月11日から適用する。

富山大学工学部規則の一部改正

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和49年5月17日

富山大学長 林 勝次

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則（昭和25年12月15日制定）の一部を次のように改正する。

第1章の章名を削り、第1条中「専門教育の課程」を「専門教育課程」に改め、同条に次の見出しを加える。

（履修期間）

第2条（見出しを含む。）を次のように改める。

（授業科目及び単位数）

第2条 専門教育課程の各学科の授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

第3条中「所属の」を「所属する学科の」に改め、同条に次の1項を加える。

2 前項の規定により修得した単位は、卒業に必要な基準単位のうちに加えない。

第4条を次のように改める。

（履修方法）

第4条 学生は、履修しようとする授業科目を、定められた期間内に当該授業科目担当教官に届け出て、その承認を受けなければならない。

第5条及び第2章から第5章までを削り、第4条の次に次の9条（見出しを含む。）を加える。

（成績評価及び試験）

第5条 成績評価は試験によるものとし、卒業論文以外の授業科目は、筆記試験による。ただし、実験、実習、演

習等の授業科目については、平素の成績をもってこれに替えることができる。

第6条 学生は、所定の期日までに卒業論文を担当教官に提出しなければならない。

第7条 卒業論文試験は、提出論文の審査及び口頭試問による。

第8条 試験に合格したときは、その成績を優、良、可の評語をもって表示する。

（卒業の認定）

第9条 卒業の認定を得るには、一般教育課程における所定の授業科目の単位を修得し、かつ、専門教育課程の授業科目84単位以上（うち専攻科目75単位以上）を修得しなければならない。

（転入学、編入学、転学部及び転学科）

第10条 学生の転入学、編入学、転学部及び転学科の許可については、教授会の決定するところによる。

（聴講生）

第11条 学則第67条第1項の規定により聴講を希望する者は、聴講科目を選定し、定められた期間内に次の書類を学部長に提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 履歴書
- (3) 最終出身学校の卒業証明書
- (4) 健康診断書
- (5) 所属長の承諾書（在職者に限る。）

（研究生）

第12条 学則第68条第1項の規定により研究を希望する者は、研究題目、希望する指導教官名、在学期間等を定め、定められた期間内に前条第1号から第5号までの書類を学部長に提出しなければならない。

（雑 則）

第13条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教授会の議を経て学部長が定める。

別表(1)を別表に改める。

別表の工業化学科の表の専攻科目中

「反応有機化学」	3	を	「反応有機化学」	2	に、
			「有機分析化学」	1	
「工業電気化学」	4		「電気化学」	4	に、
「無機反応速度論」	3	を	「反応速度論」	4	
「ガラス・耐火物・窯業」	2		「表面処理」	1	
「化学工学第1」	2		「化学工場設計」	2	に、
「化学工学第2」	2	を	「化学工学概論」	2	
「化学工場設計一般」	2		「水処理論」	1	
「化学工場設計各論」	2		「安全工学概論」	2	

「 <table border="1"><tr><td>工業物理化学実験</td><td>3</td></tr><tr><td>工業有機化学実験</td><td>3</td></tr><tr><td>有機化学実験</td><td>3</td></tr></table> 」	工業物理化学実験	3	工業有機化学実験	3	有機化学実験	3	を	「 <table border="1"><tr><td>有機工業化学実験</td><td>3</td></tr><tr><td>合成化学実験</td><td>3</td></tr><tr><td>工業物理化学実験</td><td>3</td></tr></table> 」	有機工業化学実験	3	合成化学実験	3	工業物理化学実験	3	に
工業物理化学実験	3														
工業有機化学実験	3														
有機化学実験	3														
有機工業化学実験	3														
合成化学実験	3														
工業物理化学実験	3														

改める。

別表の機械工学科の表の専攻科目中

「 <table border="1"><tr><td>伝熱工学</td><td>4</td></tr></table> 」	伝熱工学	4	を	「 <table border="1"><tr><td>伝熱工学第1</td><td>2</td></tr><tr><td>伝熱工学第2</td><td>2</td></tr></table> 」	伝熱工学第1	2	伝熱工学第2	2	に
伝熱工学	4								
伝熱工学第1	2								
伝熱工学第2	2								

改め

「

潤滑論	4
-----	---

」の次に「

材料試験法	2
-------	---

」を加え、同表の関連科目中

「

化学工学第1	2
--------	---

」を「

安全工学概論	2
--------	---

」に改める。

別表の生産機械工学科の表の関連科目中

「 <table border="1"><tr><td>伝熱工学</td><td>4</td></tr></table> 」	伝熱工学	4	を	「 <table border="1"><tr><td>伝熱工学第1</td><td>2</td></tr><tr><td>伝熱工学第2</td><td>2</td></tr></table> 」	伝熱工学第1	2	伝熱工学第2	2	に
伝熱工学	4								
伝熱工学第1	2								
伝熱工学第2	2								

改める。

附 則

- この規則は、昭和49年5月17日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。
- この規則中別表の改正規定は、昭和47年度以前の専門教育課程移行者については、なお従前の例による。

富山大学大学院学則の一部改正

富山大学大学院学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和49年5月17日

富山大学長 林 勝次

富山大学大学院学則の一部を改正する学則

富山大学大学院学則（昭和42年5月19日制定）の一部を次のように改正する。

第6条中

	電子工学専攻	8名	8名	を
合	計	86名	164名	

	電子工学専攻	8名	16名	に
合	計	86名	172名	

改める。

附 則

この学則は、昭和49年5月17日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。

富山大学大学院工学研究科規則の一部改正

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則を

次のとおり制定する。

昭和49年5月17日

富山大学長 林 勝次

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院工学研究科規則(昭和42年5月19日制定)の一部を次のように改正する。

別表中、電子工学専攻のうち

「 <table border="1"><tr><td>システム工学特論第一</td><td>2</td></tr><tr><td>システム工学特論第二</td><td>2</td></tr></table> 」	システム工学特論第一	2	システム工学特論第二	2	を	「 <table border="1"><tr><td>情報工学特論</td><td>2</td></tr><tr><td>情報システム特論</td><td>2</td></tr></table> 」	情報工学特論	2	情報システム特論	2	に
システム工学特論第一	2										
システム工学特論第二	2										
情報工学特論	2										
情報システム特論	2										

改める。

附 則

- この規則は、昭和49年5月17日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。
- 昭和48年度以前の入学生については、なお従前の例による。

諸 会 議

第1回評議会（4月1日）

〔審議事項〕

- 昭和49年度富山大学入学者選抜試験合格者の判定について
- 入学式等について

第2回評議会（4月26日）

〔審議事項〕

- 富山大学名誉教授称号授与について
- 学生の除籍について（教養部）

〔報告事項〕

- 学生の懲戒について
- 富山県に置かれる国立医学教育機関の創設準備事務について

第3回評議会（5月17日）

〔審議事項〕

- 富山大学学則の一部を改正する学則（案）について
- 富山大学大学院学則の一部を改正する学則（案）について
- 富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則（案）について
- 富山大学工学部規則の一部を改正する規則（案）について

〔報告事項〕

- 東海北陸地区国立大学長会議について
- 昭和50年度国立学校特別会計予算の概算要求の基本方針について

人事異動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
	奥 田 平八郎	教授（教養部）に採用する	49. 4. 1	文 部 大 臣
	鈴 木 邦 雄	講師（教養部）に採用する	49. 4. 1	富山大学長
	坂 口 正 志	助手（経済学部） "	"	"
	川 崎 博 幸	"（工学部） "	"	"
	春 山 義 夫	"（"） "	"	"
	作 井 正 昭	"（"） "	"	"
	堂 田 邦 明	"（"） "	"	"
	石 原 外 美	"（"） "	"	"
	高 橋 隆 一	"（"） "	"	"
	尾 島 隆 保	教育学部附属中学校教諭 "	"	"
	瀧 岸 一 宏	" "	"	"
	深 野 千 鶴子	" "	"	"
	中 井 毅	教育学部附属小学校教諭 "	"	"
	寺 崎 茂	" "	"	"
	清 水 良太郎	文部事務官（工学部） "	"	"
	京 藤 貫	"（附属図書館） "	"	"
	宮 原 進	"（経営短期学部）に採用する	49. 4. 1	富山大学経営短期大学部学長
	中 田 登志夫	文部技官（工学部）に採用する	49. 4. 1	富山大学長
助 教 授 部 (文 理 学 部)	楠 瀬 勝	教授（文理学部）に昇任させる	49. 4. 1	文 部 大 臣
(工 学 部)	藤 田 宏	"（工学部） "	"	"
(教 育 学 部)	岩 田 弘	"（教養部） "	"	"
(教 養 部)	河 野 昭 一	"（"） "	"	"
助 理 学 部 (文 理 学 部)	岡 部 俊 夫	助教授（文理学部） "	"	"
講 師 部 (経 済 学 部)	若 山 浩 司	"（経済学部） "	"	"
(大阪大学経済学部)	角 田 勝	"（"） "	"	"
助 手 (東北大学教育学部)	塚 野 州 一	講師（教育学部）に転任させる	49. 4. 1	富山大学長
(経 済 学 部)	小 島 満	"（経済学部）に昇任させる	"	"
(")	竹 川 慎 吾	"（"） "	"	"
(工 学 部)	竹 越 栄 俊	"（工学部） "	"	"
文 部 技 官 部 (教 育 学 部)	結 城 善 之	助手（教育学部） "	"	"
庶 務 部 長	丸 山 登	大阪外国語大学事務局長に昇任させる	49. 4. 1	文 部 大 臣
京 都 教 育 大 学 長 庶 務 課 長	山 下 彰 三	富山大学庶務部長 "	"	"

教育学部事務長補佐	加藤昭作	経営短期大学部事務長に昇任させる	49. 4. 1	文部大臣
庶務部人事課長 人事係	石野俱行	学生課課長補佐	"	"
経理部主計課総務係主任 共済組合主	村井弘	富山工業高等専門学校会計課出納係長 に昇任させる	49. 4. 1	富山工業高等 専門学校長
教育学部庶務係主任 庶務主	清水寛	" 庶務課人事係長 "	"	"
教育学部学務係主任 学務主	佐伯光雄	" 学生課学生係長 "	"	"
教育学部会計係主任 會計主	田中祥男	登山研修所に転任させる	49. 4. 1	文部大臣
文部事務官 (経理部経理課)	中川巖	教育学部会計課会計主任に昇任させる	49. 4. 1	富山大学長
(文理学部)	今江秀男	教育学部学務係学生主任	"	"
助(教育)教授	新福祐子	大阪教育大学助教授に配置換する	49. 4. 1	文部大臣
事務局長	森芳松	郡馬大学事務局長に配置換する	"	"
奈良教育大学事務局長	安岡健次郎	富山大学事務局長	"	"
学生課長	福山敬治	宮崎大学庶務部庶務課長	"	"
弘前大学厚生課長	和田武男	富山大学学生課長	"	"
経営短期大学部事務長	高松平吉	文理学部事務長	"	"
文理学部事務長	桜井雅楽	薬学部事務長	"	"
薬学部事務長	酒井弘	教養部事務長	"	"
学生課課長補佐	成瀬正夫	教育学部事務長補佐	"	"
経済学部庶務係長	小林武	庶務部人事課人事係長に配置換する	49. 4. 1	富山大学長
教育学部学務係長	永森俊夫	教育学部庶務係長	"	"
文部事務官 (工学部)	井城小三郎	経理部主計課	"	"
(文理学部)	東敏	経理部経理課	"	"
(附属図書館)	今井稔	文理学部	"	"
(工学部)	斉藤純一	教育学部	"	"
助(手)	割沢泰	石川工業高等専門学校助手に転任させる	49. 4. 1	石川工業高等 専門学校長
教育学部 附属中学校教諭	頭川昭子	筑波大学講師に転任させる	49. 4. 1	筑波大学長
一関工業高等専門学校 講師	森博	講師(教育学部)転任させる	49. 4. 1	富山大学長
富山工業高等専門学校 庶務課人事係長	本沢健二	教育学部学務係長	"	"
富山工業高等専門学校 会計課総務係長	高岡博	教養部会計係長	"	"
富山工業高等専門学校 庶務課庶務係長	島田政信	経済学部庶務係長	"	"
文部事務官 (経営短期大学部)	三井進	文理学部	"	"
教養部事務長	若林俊吉	辞職を承認する	49. 4. 1	文部大臣
教養部会計係長	藤波佐九郎	辞職を承認する	49. 4. 1	富山大学長
用務員 (教育学部作業員)	松下イト	"	"	"
臨時用務員 (経理部主計課警務員)	高見茂義	昭和49年3月31日限り退職した	"	"
技能員 (工学部電工)	森田昌夫	文部技官に任官させる	"	"
(工学部) 管轄手	竹林信義	"	"	"

(教育学部)	高野兼吉	教育学部附属中学校長に併任する (併任の期間 51年3月31日まで)	49. 4. 1	文部大臣
(")	山口政則	教育学部附属小学校長に併任する。 (併任の期間 51年3月31日まで) 教育学部附属幼稚園長に併任する (併任の期間 51年3月31日まで)	"	"
(薬学部附属和漢薬研究施設)	大浦彦吉	薬学部附属和漢薬研究施設長に併任する (併任の期間 51年3月31日まで)	"	"
(文理学部)	竹内豊三郎	文理学部長に併任する (併任の期間 51年3月31日まで)	"	"
(教養部)	杉本新平	教養部長に併任する (併任の期間 51年3月31日まで)	"	"
(薬学部)	山崎高應	薬学部長に併任する (併任の期間 51年3月31日まで)	"	"
(文理学部)	高瀬重雄	昭和49年4月1日限り停年により退職した	49. 4. 2	文部大臣
(経済学部)	友杉芳春	"	"	"
(工学部)	上野亨	"	"	"
(")	浅岡忠知	"	"	"
(教養部)	林良二	"	"	"
(")	白井芳朗	"	"	"
	福村文吾	臨時用務員(経理部主計課警務員)に採用する	49. 4. 11	富山大学長
臨時用務員 (教育学部作業員)	栗林繁治	昭和49年4月10日限り退職した	"	"
(")	南宗篤	"	"	"
文部技官部 (薬学部)	越光子	辞職を承認する	49. 4. 15	富山大学長
文部技官部 (薬学部)	宮越壽美子	辞職を承認する	49. 4. 30	富山大学長
	稲垣保彦	助教授(教養部)採用する	49. 5. 1	文部大臣
	荒川千恵子	講師(教育学部)に採用する	49. 5. 1	富山大学長
	葛晋治	"(教養部)"	"	"
	水島俊雄	文部技官(文理学部)"	"	"
	白井隆一	事務補佐員(薬学部)"	"	"
助教授 (鳥取大学教養部)	瀧澤弘	助教授(教養部)に配置換する	49. 5. 1	文部大臣
事務補佐員 (文理学部)	中島範子	辞職を承認する	49. 5. 1	富山大学長
(経営短期大学部)	宮本唯雄	昭和49年4月30日限り退職した	49. 5. 1	富山大学経営短期大学部学長
	片山良一	技能補佐員(教育学部農夫)に採用する	49. 5. 8	富山大学長
	増田信彦	講師(経済学部)に採用する	49. 5. 11	富山大学長
	清田敬子	教育学部附属中学校教諭に臨時的に任用する (任期は昭和49年6月25日まで)	49. 5. 15	富山大学長
	久和澄子	文部技官(文理学部)に採用する	49. 5. 16	富山大学長
文部事務官部 (工学部)	高野俊英	経営短期大学部に転任させる	49. 5. 16	富山大学経営短期大学部学長
文部技官部 (名古屋大学工学部)	萩野明	工学部に転任させる	49. 5. 16	富山大学長
(富山工業高等専門学校学生課)	越森哲	施設課に併任する (併任の期間 昭和49年8月31日まで)	"	"
	高林彰	技術補佐員(経理部主計課)に採用する	49. 5. 23	富山大学長

学内諸報

名誉教授の称号授与について

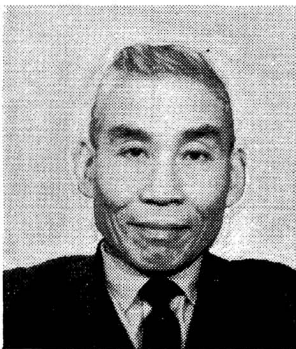
昭和49年4月停年退職された次の4氏に対し、昭和49年4月26日付けで富山大学名誉教授の称号が贈られた。



名誉教授
高瀬重雄
京都帝国大学文学部
史学科卒業
文学博士

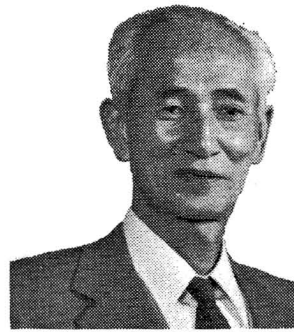
昭和19年6月高岡工業専門学校教授として着任、同24年6月富山大学教授となり30年間にわたり教育研究に従事、この間文理学部長、学生部長、附属図書館長等を歴任され本学および文理学部の管理運営に貢献された。

また、学外にあっては史学研究会評議員、日本思想史学会評議員、富山県社会教育委員会会長、富山県文化財専門委員等として地方文化の発展向上に寄与された。



名誉教授
上野亨
東京帝国大学工学部電気
工学科卒業

昭和21年6月高岡工業専門学校教授、同25年4月富山大学工学部教授となり28年間にわたり教育研究に従事、この間に評議員、工学部長を歴任し大学の管理運営に参画された。また、学外にあっては電気学会北陸支部長として学会および地方産業界の発展にも幾多の貢献があった。



名誉教授
浅岡忠知
東北帝国大学理学部卒業
理学博士

昭和24年11月富山大学文理学部講師、同25年4月同教授、同26年4月工学部教授となり、24年間にわたり教育、研究に従事、またこの間評議員、附属図書館長として本学の管理運営に、さらに工学部化学工学科の新設に寄与され、学外においては、日本化学会常議員として学術振興に貢献された。



名誉教授
林良二
北海道帝国大学理学部卒業
理学博士

昭和24年8月富山高等学校教授、同25年3月富山大学文理学部教授、同42年4月教養部教授となり25年間にわたり終始熱心に学生を指導し教育された。また文理学部長ならびに評議員の職を兼任され本学の管理運営に寄与された。

永年勤続者表彰

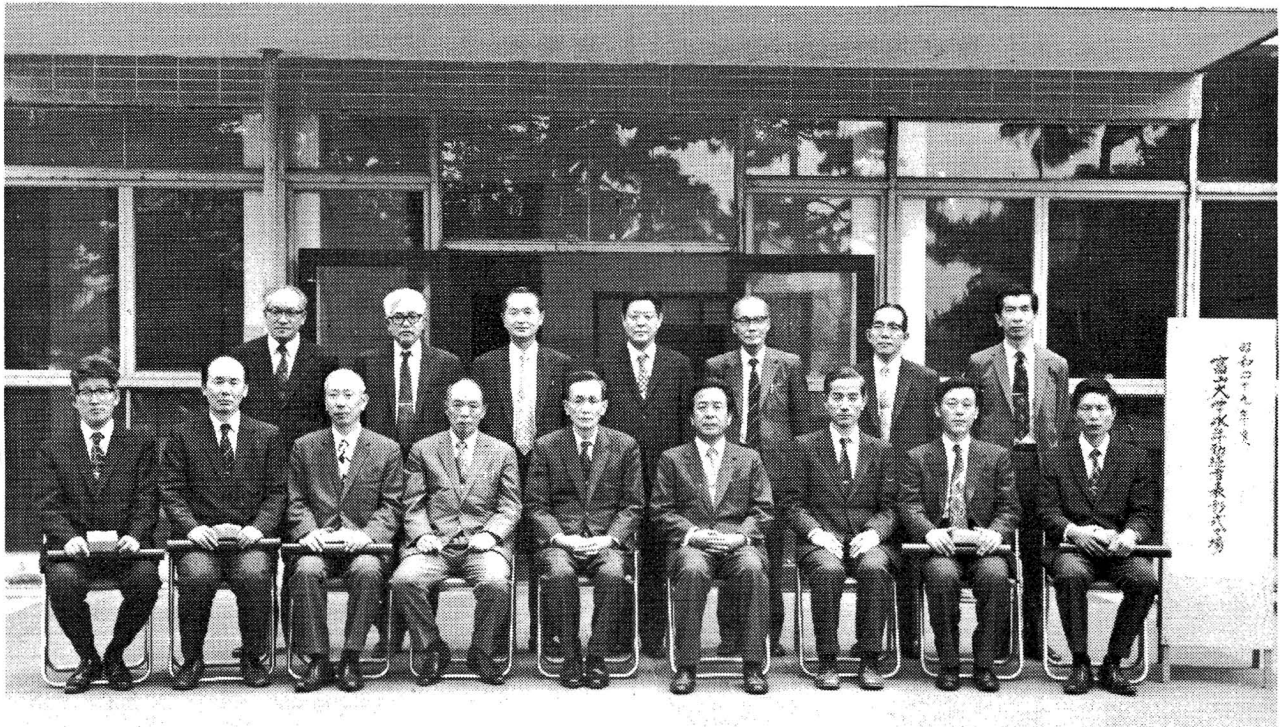
本学の昭和49年度永年勤続者表彰式は、開学記念日の5月31日午前11時30分から学長室において举行され、次の勤続35年2名、勤続20年6名の職員に対し学長からそれぞれ表彰状ならびに記念品が贈呈された。

勤続35年

教育学部 高野 兼吉 教育学部 中山宇之一

勤続20年

庶務部 泉 三郎 文理学部 間野 潜龍
教育学部 野村 昇 教育学部 森田 弘
教養部 宇尾野逸作 教養部 藤井 昭二



昭和49年度永年勤続者表彰式

海外渡航者

氏名	所属	官職	渡航の種類	渡航先国	目的	期間
市村昭二	工学部	教授	海外研修旅行	台湾	台北医学院とクロレラの薬理作用に関する共同研究のため	49.4.25 } 49.5.1
塚田欣司	薬学部	教授	海外研修旅行	アメリカ合衆国	肝細胞の核DNA合成の調節機構についての研究のため	49.5.1 } 49.8.31
森田直賢	薬学部	教授	外国出張	台湾	台湾産植物の成分(フラボノイド)研究及び植物採集のため	49.5.13 } 49.5.22
市村昭二	工学部	教授	海外研修旅行	台湾	台北医学院とクロレラの薬理作用に関する共同研究のため	49.5.25 } 49.5.30

職員消息

〈新任者〉

事務局

文部事務官 安岡健次郎

〃 山下 彰三

臨時用務員 福村 文吾

学生部

文部事務官 和田 武男

文理学部

文部技官 水島 俊雄

〃 久和 澄子

教育学部

講師 塚野 州一

〃 森 博

教諭 中井 毅

教 諭 寺崎 茂
 " 尾島 隆保
 " 瀉岸 一宏
 " 深野千鶴子
 文部事務官 本澤 健二
 技能補佐員 片山 良一

経済学部

助 教 授 角田 勝

講 師 増田 信彦
 助 手 坂口 正志
 文部事務官 島田 政信

薬学部

事務補佐員 白井 隆一

工学部

助 手 春山 義夫

" 作井 正昭
 " 堂田 邦明
 " 石原 外美
 " 高橋 隆一

文部事務官 清水良太郎

事務補佐員 柳瀬美恵子
 " 野村利英子

教養部

教 授 奥田平八郎
 助 教 授 稲垣 保彦
 " 龍澤 弘
 講 師 鈴木 邦雄

" 葛 晋治
 文部事務官 高岡 博

附属図書館

文部事務官 京藤 貫

経営短期大学部

文部事務官 宮原 進

<改 姓>

文理学部

事務補佐員 稲積紀美子 (旧姓 宮野)

工学部

事務補佐員 柿谷紀代子 (旧姓 池永)

教養部

文部事務官 杉林 昭子 (旧姓 山本)

<住所変更>

事務局

文部事務官 草島 幸雄
 技術補佐員 高塚ノブ子

学生部

文部事務官 宮越 一男

文理学部

事務補佐員 稲積紀美子

教育学部

助 教 授 長沼忠兵衛

講 師 小川 洋通

経済学部

助 手 泉田 榮一

薬学部

教 授 堀越 勇
 助 手 寺岡 弘文

文部技官 辻堂 清

工学部

助 教 授 三日市政司
 " 島崎長一郎
 助 手 石原 外美
 用 務 員 金場 末男
 事務補佐員 柿谷紀代子

教養部

助 教 授 塚崎 幹夫

講 師 丸山 瑤一
 " 小坂 光一

附属図書館

事務補佐員 羽田 弘

経営短期大学部

講 師 菊川 貞己
 用 務 員 藤井 伸一

主 要 日 誌

本 部

4月1日 第1回評議会

2日 昭和49年度富山大学入学者選抜試験合格者発表
 10日 第1回事務協議会
 15日 昭和49年度富山大学入学式
 16～17日 新入生オリエンテーション
 23日 富山大学計算センター開所式
 24～25日 第46回東海北陸地区国立大学学生部課長会議（於 岐阜大学）
 26日 第2回評議会
 26～27日 第45回東海北陸地区国立学校等会計部課長会議（於 名古屋大学）
 27日 臨時全国教育系大学事務局長会議（於 東京学芸大学）
 5月7日 臨時東海北陸地区国立大学事務局長会議（於 福井大学）
 8～9日 第22回東海北陸地区国立大学長会議（於 福井大学）
 9日 厚生補導研究協議会（於 大阪大学）
 10日 全国大学保健管理協議会東海北陸地区幹事会（於 静岡大学）
 13日 昭和49年度国立大学事務局長会議（於 国立教育会館）
 15日 富山大学名誉教授称号授与式
 17日 第3回評議会
 18日 北陸三大学学生体育競技連盟協議会（於 金沢大学）
 20日 第2回事務協議会
 22日 東海北陸地区国立学校等庶務・人事課長会議（於 名古屋大学）
 第20回国立大学学生部次長協議会（於 筑波大学）
 23～24日 昭和49年度国立大学学生部次長、課長会議（於 虎ノ門共済会館）
 24日 北陸三県大学奨学事務協議会（於 富山大学）
 25日 臨時補導協議会
 26日 北信越大学学生陸上競技大会（於 富山県営陸上競技場）
 27～28日 昭和49年度国立学校経理部課長会議（於 東京青山会館）
 28～29日 国立学校及び所轄機関等庶務部課長会議（於 一橋講堂）
 30日 国大協第4常置委員会（於 国大協会議室）
 31日 昭和49年度永年勤続者表彰式

文 理 学 部

4月1日 教授会

文理学部長に竹内豊三郎教授発令
 15日 入学式
 新入学生オリエンテーション
 文学科、理学科授業開始
 16日 理学科教官会議
 17日 教授会
 人事教授会
 文学科教官会議
 20日 理学科2年次学生（48年11月専門課程移行者）後学期授業終了
 24日 新入学生健康診断
 文学科教官会議
 25日 学部レクリエーション委員会と真率会役員会との合同会議
 30日 理学科3年次学生前学期授業開始
 5月1日 人事教授会
 文学科教官会議
 選考委員会（国史学）
 7日 理学科教官会議
 8日 教授会
 文学科教官会議
 学部職業補導委員会
 選考委員会（中国語・中国文学）
 11日 理学科3年次学生（昭和48年2月専門課程移行者）後学期授業終了
 13日 理学科教官会議
 15日 文学科教官会議
 16日 文学科教官会議
 20日 理学科教官会議
 21日 教授会
 学部補導委員会
 23～24日 13大学人文系学部長会議（於 山形大学）
 国立15大学理学部長会議（於 信州大学）
 26日 真率会レクリエーション（中能登）
 27日 理学科4年次学生（昭和48年2月専門課程移行者）前学期授業開始
 文学科教官会議
 29日 教授会
 人事教授会
 文学科教官会議

教 育 学 部

4月1日 教務・補導合同委員会
 教授会

4日 附属小学校第1学期始業式

- 5日 附属小学校入学式
6日 附属中学校第1学期始業式
附属幼稚園第1学期始業式
8日 前学期授業開始
附属中学校入学式
10日 教務委員会
教授会
附属幼稚園入園式
15日 学部オリエンテーション
17日 新入学生健康診断
教務委員会
23日 予算委員会
24日 職業補導委員会
補導委員会
教務委員会
教授会
人事教授会
5月1日 予算委員会
教務委員会
8日 職業補導委員会
補導委員会
人事教授会
9～10日 北陸地区教員養成学部(分校)事務長協議会
15日 X線間接撮影
16日 予算委員会
17日 附属小学校教育研究発表会
22日 臨時教務委員会
23～24日 全国国立大学教育学部長会議(於 島根大学)
27日 補導委員会
29日 教務委員会
教授会
人事教授会
附属小学校春の遠足
30～31日 全国国立大学教員養成学部事務長協議会
(於 愛知教育大学)

経済学部

- 4月1日 第1回教務委員会
第1回教授会
3日 第1回人事教授会
8日 第2回教務委員会
9日 第1回論集編集委員会
10日 第3回教務委員会
第2回教授会
13日 第4回教務委員会(持廻り)

- 15日 新入学生オリエンテーション
15～20日 2年次学生期末試験
16日 新入学生健康診断
17日 第5回教務委員会(持廻り)
第3回教授会(持廻り)
20日 論集研究報告会
22日 授業開始
23日 第1回補導委員会
24日 第6回教務委員会
第4回教授会
25日 第1回学部施設整備委員会
5月7日 第1回学部職業補導委員会
第7回教務委員会
8日 第2回人事教授会
第5回教授会
昭和49年度国家公務員上級試験説明会(於 経
済学部2番教室)
15日 第8回教務委員会
第2回学部職業補導委員会
16日 X線間接撮影
18日 研究報告会
20日 第2回学部補導委員会
第2回学部施設整備委員会
22日 第6回教授会
29日 第1回学部図書委員会

薬学部

- 4月1日 教授会
4～5日 日本薬学会(於 東北大学)
9日 教務委員会
10日 教授会
15日 学部オリエンテーション
前学期授業開始
17日 教授会
22日 予算委員会
教務委員会
24日 教授会
30日 和漢薬研究施設運営委員会
5月1日 教授会
10日 補導委員会
学部アイソトープ委員会
13日 カリキュラム検討委員会(第19回)
14日 X線間接撮影
15日 教授会
研究科委員会

- 18日 和漢薬研究施設運営委員会
- 20日 和漢薬研究施設運営委員会
- 22日 教授会
研究科委員会
- 25日 第24回同窓会
- 28~29日 全国国立薬学部(課)長会議(於 大阪大学)
- 29日 補導委員会
- 30日 教授会
- 31日 教務委員会

工 学 部

- 4月1日 一般教授会
専任教授会
- 10日 教務委員会
- 13日 一般教授会
研究科委員会
- 15日 49年度前学期授業開始
- 24日 一般教授会
- 5月10日 研究科委員会
- 22日 専任教授会
- 29日 学部補導委員会

教 養 部

- 4月4日 補導委員会
- 8日 教務・補導合同委員会
教授会
教授のみの教授会
- 15日 教養部オリエンテーション
図書委員会
- 17日 教授会
- 18日 49年度前学期授業開始
- 5月1日 教授のみの教授会
- 8日 教養部改革小委員会
- 15日 全国国立大学教養(学)部事務長会議(於 佐賀大学)
- 16~17日 全国国立大学教養(学)部長会議(於 佐賀大学)
- 21日 X線間接撮影
- 22日 教授会

附属図書館

- 4月4日 事務打合せ会
- 22日 事務打合せ会

- 5月8日 富山県図書館協会総会(於 富山県立図書館)
- 8~9日 第24回北信地区国立大学図書館協議会(於 金沢大学附属図書館)
- 14日 商議会
- 15日 事務打合せ会
- 16日 X線間接撮影

経営短期大学部

- 4月3~5日 入学手続
- 1~7日 聴講生願書受付
- 9日 教授会(第1回)
- 15日 入学式
- 19日 定期健康診断
- 20日 新入生歓迎会
- 5月7日 教授会(第2回)
- 19日 学友会主催球技大会
- 21日 教授会(第3回)

訂 正

学報第 154号(昭和49年2月・3月号)の一部を次のように訂正します。

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| | 誤 | 正 |
| 4 P 「人事異動」中 | 納村美智子 | 納村美智夫 |
| 5 P 「文理学部長の改選」 | 4行目 | |
| | 誤 | 正 |
| | 東京帝国大学理学部化学科 | 北海道帝国大学理学部化学科 |

編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 第一共同印刷株式会社
富山市太郎丸1220-2
電話☎196(代)